

## ムダ開き削減、通行性改善効果事例のご紹介

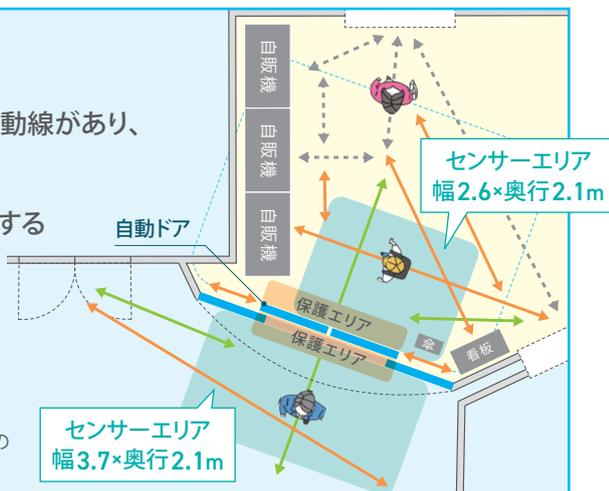
Case 1 新東名高速道路のサービスエリア「NEOPASA 駿河湾沼津下り」の自動ドアでのデモ設置

### ！ お客様のお悩み



- エントランスの屋内側、屋外側ともに様々な動線があり、ムダ開きが頻繁に発生している。
- 子供からお年寄りまで様々な利用者が通行するため、快適な通行性は確保したい。
- 霧発生時期には霧によるセンサー誤作動によるドア開閉が見受けられる。

→ 自動ドアが開いて欲しくない動線  
→ 自動ドアが開いて欲しい動線  
↔ その他の動線



## NATRUS<sup>+</sup>e W に変更

ドアが開いてほしくない

↔ の動線に対しては、  
 ドアが開かないように  
 になりました。

→ 自動ドアが開いて欲しくない動線  
→ 自動ドアが開いて欲しい動線  
↔ その他の動線



### NATRUS<sup>+</sup>e W 設置の効果

✓ **自動ドアのムダ開き削減効果：約21%ドアの開放時間を削減**

ドア開閉状況確認ツールによる実測での比較で約21%（1日あたり約1時間20分）、従来の自動ドアより開放時間を削減（屋内側+屋外側の合計値）

✓ **通行性の改善効果：通行全体の約20%**

従来のセンサーより早くドアを開いた回数  
 ➔ 1日当たり約320回（全体の通行数の約20%）

✓ **誤作動低減効果：霧による誤作動を低減**

当該エリアに濃霧が発生していた時期に、霧による誤作動を低減

土日の通行量が多い日ほど、削減効果が見られる



### お客様の声

雨や天気が悪い日に自動ドアが勝手に開いたり、自動販売機をご利用のお客さまが自動ドアに近づくと開いたりしていました。この商品の設置では、自動ドアを利用しない時には開かないようになり、室内環境の改善につながったと感じています。